

森林レンジャーあきる野新聞

森林レンジャーあきる野は、今年の5月で発足して7年目に入ります。これまでに、地域と協働の森づくり、調査、巡視、環境教育と、あきる野の森で活動を続けてきました。

思い起こせば、巡視として登山道や地域と協働で復活した昔道を歩き、調査として道なき森や沢筋の崖や川の中を歩き、地域の人や子どもたちとも森を歩き、森を歩くことを基点としてさまざまな活動が始まりました。

森ではなく地域を歩けば、あきる野の人が自然とどのような関わりを持ってきたかということ、歴史や文化を地域の皆さんから教えていただきました。自然や地域から学んだことを次世代の子どもたちに伝える場をつくるために大切にしていることは、やはり自分の足で歩き、自分の目で見ることです。



森林レンジャー
あきる野新聞VOL.63
「コレンジャー活動報告
とどんぐり着果状況」

そして、歩いて見てきたあきる野の魅力をこの『森林レンジャーがゆく』や毎月発行している『森林レンジャーあきる野新聞』で紹介しています。地域の方に「レンジャーがゆくを見たよ!」と声を掛けていただくことが多いのでご存知の方は多いと思うのですが、『森林レンジャーあきる野新聞』は、なかなか手にする機会が少なく、市内の一部の方しか見ていただけていないのかなという印象です。

『森林レンジャーあきる野新聞』の存在を知っていましたか。新聞も今月で69号目となり、カラー写真を使用して最新の市内の登山道の状況や自然の紹介、地域と協働で復活した昔道の紹介、森の子コレンジャーや市内小学生の体験学習などの活動報告を掲載しています。多くの方にあきる野の魅力や自然の現状を知ってもらえる内容となっています。市役所、中央図書館、中央公民館、五日市観光協会、瀬音の湯などで入手することができ、市ホームページからも見ることができますので、ぜひご覧ください。

(加瀬澤)